

太宰府中学校 | 学年だより

No.18

R5.11.8

文責：1年学年主任

「不自由さ」を学ぶ意味とは

自然教室の体験活動を通して、個人としても集団としてもよりよく成長しよう。

11月に入り、自然教室まであと20日ほどとなりました。自然教室に向けて、少しずつ準備をしています。今週から、実行委員(係長)が提案した「学年取り組み」を行っています。

名札チェック・ハンカチチェック・黙動掃除の徹底など、どれも係の仕事内容につながる取り組みです。朝の会で毎日、できているか確認し合っ、掲示板に結果を記録しています。

集団で生活する2日間、誰もが安心して安全に過ごすために、「各係の仕事に責任をもつ」ことを学んでいます。

自然教室は家族旅行とは違います。好きな時間に好きなことができないことがほとんどです。

日頃の生活では、いつもおうちの方がご飯を作ってください、きれいに洗濯された服が用意され、好きな時間にテレビやゲームを楽しみ、用意してある布団で眠ることができるでしょうが、自然教室では、ゲームやテレビはまったく遮断され、布団も決められた方法でたたまないといけません。ご飯も決められた時間内で順番を守って食べます。また、部屋では他の人と一緒に過ごすので、好き勝手なことはできません。

中学校を離れて、大自然の中で皆と寝食と共にすることを楽しみにしている反面、食事や風呂の時間が短いことや、寝る時間や起きる時間が家庭とは違うことなど、何かと不自由だと感じることもあるでしょう。そもそも、どうして「不自由さ」を学びに遠くまで行くのでしょうか…。

それは、不自由さから得られる忍耐(我慢強さのこと)や、皆で力を合わせてやりとげる助け合いや思いやりの心を体得してほしいからです。

以前、旧海軍にいらっしゃった方が、テレビで次のような話をしていました。

船の上では、水が命より大事。だから、私たちは毎日、一杯の水が入った洗面器で生活していた。一杯の水で、顔を洗い、歯を磨き、体を洗う。そうすることで、皆で助け合っ海の上での不自由な生活を皆で乗り越える力を身につけるのです。



戦争中のことですから少し極端な話でしょうが、根本は同じです。周囲を海に囲まれた船の上で、誰もが好き勝手に水を使い放題したら、船員全員の命に関わります。限られた水しか使えない「不自由」な生活をおくるからこそ、自分勝手をせず、周りのことを考えて行動できる態度が身につくのです。

自然教室でも、様々な不自由さがありますが、皆が少しずつ我慢することで、128人全員の生活が安心して楽しく過ごすことができるのです。

「少しずつの不満足」どこかで聞いた言葉ですね。集団で生活するときの「思いやり」だと思います。自然教室で、この「思いやり」をお互いに出し合えるといいですね。

そして、これまで当たり前のような生活は「おうちの方のおかげ」だと気づくでしょう。不自由な生活を通して、皆さんが毎日健やかに生活できるようにおうちの方が毎日してくださっていること…弁当を持たせ、服を洗い、文具を買ってくださることなどは「当然のこと」ではなく「してくれている」ことだとありがたく感じてほしいと思います。

また、自然教室で学ぶもう一つの意義は「自立」です。自分の与えられた仕事に責任を持つことはもちろんのこと、持って行く物は自分で用意することも「自立」の一つです。

ある高等学校の先生が、中学校の講演会で次のような話をしていました。この高校は県内でも有数の進学校の一つで、この高等学校でも自然教室は毎年行われています。

毎回、自然教室最後の日に「忘れ物」の確認が行われます。タオルや靴下などの個人の持ち物が皆の前で「これ誰のだ」といって披露されるので、その場で「自分のです」といって出て行くのはなかなか恥ずかしいことです。

以前まではこのような状況が普通で、よくある光景だったのですが、数年前から状況がちょっと変わってきました。それは「忘れ物を取りに行くのは恥ずかしい。」ではなく「自分が何を持ってきたか知らない。」というのです。

よく聞くと、この生徒の荷物はすべて「親が用意してくれる」のだそうです。そのことを当たり前のように、恥ずかしさもなく平然として言うのです。

私はこのことに大きなショックを受けました。保護者の皆さん、そして生徒さん、どう思いますか。

どうですか。「自分のことが自分でできない」ことを何とも思わない感覚をあなたはどのように感じますか。このまま彼らが大人になったとき、ひとりで生活していけるでしょうか。

このような話を聞くと、あらためて「不自由な生活」が持っている「学びの意味」がわかると思います。自然教室は、様々な不自由なこともあります。それ以上に日頃味わうことができない自然の雄大さや美しさにきっと感動すると思います。そして何より、「仲間と過ごすことは楽しい」ことを感得すると思います。

自然教室が終わった後、きっと皆さんは心も体も大きく成長していると思います。2日間の生活を通して、我慢する強さと、周りのことを考えて行動できる優しさを身につけることができるでしょう。仲間の大切さ、そして、家に帰って、おうちの方のありがたさを改めて感じることでしょう。

皆さんが、この自然教室で、学校の授業だけでは学べないたくさんのことを学び、もう一歩成長することを楽しみにしています。

今後の連絡(自然教室関係 変更されることがあります)

20日(月)授業(月1~月5・学活)

- ・学活:自然教室について(集団訓練など)
- ・明日の授業で使う教材(教科書など)は、教室に置いて帰ってください。
- ・ミチザネノートは持ってきてください。21日・27日の教科連絡を書きます。

21日(火)授業(火1~火4+総合)

- ・総合:荷物確認(自然教室で使う荷物を持ってくる)
- ・弁当は必要です。
- ・下校時間:14:30(予定)*この日の1年生の部活動は中止

22日(水)自然教室1日目

- ・集合時間:8:20(天満宮駐車場)
- ・欠席連絡は7:30迄にシグフィーをお願いします。(キャンセル料がかかります)
- ・活動内容:カッター訓練(雨天時は貝皿クラフトなど)

23日(木)自然教室2日目

- ・活動内容:ウォークラリー(雨天時はクラスマッチなど)
- ・到着時間:15:30(天満宮駐車場)*予定

24日(金)振替休日

27日(月)月1~5+学活

- ・学活:自然教室振り返り

